

No.					市立甲府病院 機能仕様書
Lv1	Lv2	Lv3	Lv4	Lv5	要件項目
4	1				共通機能
4	1	1			マウスおよびキーボードによる容易な入力方式を採用していること。 通常、キーボード主体でも入力ができること。
4	1	2			主要な患者登録/窓口会計業務では、初期画面表示後も前回処理した患者(番号)をワンクリックで呼び出せること。
4	1	3			端末単位に外来基本カードや患者請求書の出力先(プリンタ)を設定できること。
4	1	4			診療データ保存期間は、最大9ヶ月まで拡大できること。(標準は61ヵ月であること。)
4	1	5			診療データ保存期間については、会計カードでの修正及びレセプト再出力ができること。
4	1	6			料金データについても、診療データと同期をとり同一期間の保存ができること。
4	1	7			月次のファイル整理(診療データ削除)においては、該当月分のデータ削除と最新月分へのデータ切り替え処理で済ませることができること。
4	1	8			システムエラー/業務エラー/業務警告メッセージ等に対し、文字色および警告音有無の設定ができること。
4	1	9			入力中のテキストボックスの背景色を選択できること。
4	1	10			和暦/西暦年の選択利用ができること。(判定年の設定含む)
4	1	11			複数端末による同一患者の同時データ更新を防止できること。(患者ロック処理)この時、どの端末で処理されているか、端末番号だけでは判断しにくい ため、患者ロックビューア画面に端末情報や内線番号を表示できること。
4	1	12			患者ロック処理時には、参照モードで内容が展開すること。
4	1	13			患者ロックビューア画面では、端末ID、患者ID、利用者で並べ替えができること。
4	1	14			利用者・職制ごとに更新権限、参照権限の区別ができること。
4	1	15			医事会計システムを使用する利用者全体にお知らせする掲示板機能が付加されていること。 また、この掲示板機能をシステム起動時に自動表示できること。
4	1	16			ドクターコードの運用有無の設定ができること。
4	1	17			テスト患者IDの範囲設定が行え、本番患者との切り分けができること。
4	1	18			点数・薬価マスタとも病院向け基本マスタを標準提供できること。
4	1	19			新薬・材料の追加等、病院利用者でのメンテナンスもできること。
4	1	20			薬剤(物品)管理システムと接続し、医薬品マスタ情報連携ができること。
4	1	21			頻繁な医療費改定(年2回等)を考慮し、点数・薬価マスタの世代管理を5世代まで管理できること。
4	1	22			システムで使用するマスタは日付で世代化して改正前後の内容を保持できること。 世代管理は9世代まで管理できること。
4	1	23			点数マスタでは、特定器材等の商品名、規格名称を登録するエリアを持っており、レセプト電算記録仕様に対応していること。
4	1	24			点数マスタメンテナンス画面は、他システム等から呼び出すことが可能で、そのシステムより引き渡されたキー情報(点数マスタコード)に合致するマスタを初期表示できること。
4	1	25			職員マスタの利用者ID(ドクターコード)については、最大8桁までの数字と英字が設定できること。
4	1	26			パスワード運用時、利用者名が表示ができること。
4	1	27			端末ごとに利用業務・画面の設定ができること。
4	1	28			パスワードに使用期限設定が可能で、期限切れの場合変更要求がシステムでできること。
4	1	29			アクセスログを記録できること。
4	1	30			システムへログインしている利用者漢字氏名・ログインIDが常に画面上に表示されていること。
4	1	31			患者基本情報をアクセスした履歴が時系列で参照できること。
4	1	32			患者基本情報の最終更新時の処理時間、処理者、処理端末を画面上で確認できること。
4	1	33			請求書等のオンライン印刷物は、オーバーレイ対応(枠線の印字等)していること。 (専用紙の発注が不要であること)
4	1	34			外来履歴一覧では、来院日、受診科、初診日、初回算定日、初回区分、DR名称が表示され、各項目で並べ替えができること。
4	1	35			入院履歴一覧では、入院日、退院日、最終科、病棟、転帰、転出区分、DR名称が表示され、各項目で並べ替えができること。
4	1	36			保険詳細画面では、社保/国保、公費、その他に分けて以下の保険情報が表示できること。 ・保険者番号、保険確認日、記号、番号、食事標準負担、福祉医療一部負担区分、外来月額一部負担金、入院月額一部負担金、委任サイン、低所サイン、 外来限定科、入院限定科
4	1	37			患者メモ画面では、患者メモ情報、レセプトコメント、自動起動業務区分が表示できること。
4	1	38			患者メモ情報に自動起動業務区分を設定した場合、該当画面(新患登録等)起動時に、業務サポート画面に患者メモが強制的に表示できること。
4	1	39			レセプトコメントを表示する際には以下の条件で設定できること。 対象年月・医歯区分・入外区分・診療科・主保険
4	1	40			条件設定は、患者ごとに保持できること。
4	1	41			DPC情報画面では、属性、DPC決定内容、入院情報、病名情報、手術・処置情報が表示できること。
4	1	42			DPC情報画面からコーディング画面や出来高包括比較ツール等が起動できること。
4	2				患者基本情報
4	2	1			患者基本情報共通部分にて表示できる内容は以下とする。 患者ID、患者姓名、患者カナ姓名、性別、生年月日、満年齢、最終来院日、保有保険、住所、電話番号、VIPサイン、未収金ラベル、同性同名患者 マーク、 最終入院日、最終退院日、患者メモ、他システム連動ボタン
4	2	2			患者基本情報に紐付けて電子ファイルを登録、管理できること。
4	2	3			登録するファイルが無い場合も、タイトル/メモを登録、管理できること。
4	2	4			新規来院患者の患者基本情報(氏名(ミドルネーム、旧姓含む)、性別、生年月日、住所、電話番号、コメント)および患者保有保険情報の登録・修正・削除ができること。また、カナ氏名では英数字の入力も可能で、かつカナ姓・カナ名・カナミドルネームが同一の場合には(同性同名有り)を警告表示できること。
4	2	5			保有保険情報は主保険36個、従保険36個登録できること。
4	2	6			保有保険ごとの最終保険確認日が画面を切り替えずに確認できること。
4	2	7			保有保険ごとの保険確認状態を解除・確認済に切り替えることができること。
4	2	8			保有保険ごとの資格取得日が登録できること。
4	2	9			保険登録の際に既存の保険情報をコピーして引用できること。
4	2	10			保険詳細情報画面で以下の設定ができること。 ・継続区分・船員区分・国保特別区分(結予/精神併用区分)・高額療養費委任扱いサイン(入外/入院のみ/外来のみ)・低所得者サイン(一般/上位/長期/後期等)・保険負担区分・入外別の限定科(適用/非適用)各々5科
4	2	11			食事標準負担区分の自動設定は、減額認定患者の県単公費助成や諸法の全額患者請求にも対応できていること。
4	2	12			公費一部負担金月額の自動設定は保険者マスタからできること。
4	2	13			レセプトに出力する病名(歯科の場合、歯部位位まで)の登録・修正・削除ができること。 また、病名のコード入力に使用する傷病名マスタは、基金コード、ICD10分類コードが採番されているレセプト電算傷病名マスタを利用できること
4	2	14			歯部位位の入力では、レセプト表示に合わせた容易な入力ができること。また、医科歯科共用画面と医科専用画面の切り替えが自由にできること

4	2	15		1患者につき科毎200病名までの登録ができること。
4	2	16		患者属性情報（識別情報、来院情報、連絡先情報、身体情報、医師情報、感染症情報等）の登録・修正・削除ができること。
4	2	17		紹介患者についての諸情報（紹介先情報、紹介元情報、搬入情報、紹介扱い状況等）の登録・管理ができること。
4	3			受付/管理業務
4	3	1		患者登録情報を元に、患者IDカード、外来基本カード、受付票の発行ができること。
4	3	2		再来患者の受付、外来基本カード（前回処方を含む）の発行、受付票の発行ができること。
4	3	3		外来基本カードは科単位発行か患者ごと発行かの選択ができること。 また、運用により保険別（前回診療情報）の発行や退院時（入院）処方の発行ができること。
4	3	4		保険確認・照会が行えること。検索条件（自動表示方法）を自由に変更できること。
4	3	5		患者ごと（全保有保険）および 保険別の保険確認日の登録・修正ができること。
4	3	6		基本・保険登録処理と連携し、保険の修正・追加ができること。
4	3	7		自動再来受付機を利用し、患者の受付ができること。
4	4			各種情報照会
4	4	1		患者ID、氏名等、患者照会ができること。
4	4	2		来院履歴の照会ができること。
4	4	3		見舞い客の可否、登録ができること。
4	4	4		空床状況の照会ができること。
4	4	5		受付状況の照会ができること。
4	5			会計
4	5	1		外来患者に対する全診療内容をコードまたは略称等を入力し、入力された診療内容と保険情報を基に点数・料金計算を行い、患者に対する請求書の発行ができること。
4	5	2		患者請求書発行時、運用により薬引換券（情報）や予約券（予約情報10個）の発行およびバーコード情報の出力（POSレジ利用等）に対応できること。
4	5	3		適用保険の自動選択ができること。また、複数の保険に対する診療データを同一画面上で同時に入力できること。
4	5	4		主行為（手技）、薬剤、材料の点数計算と表示ができること。
4	5	5		入院日および退院日の表示ができること。また、現在入院中の科と全科での最終来院日の表示もできること。
4	5	6		労災保険適用時、病衣加算を自動算定できること。
4	5	7		請求書発行の際、同一請求書を複数枚発行し、出力先も指定することができること。
4	5	8		請求書に印字する請求書宛名、住所を、該当患者のものから差し替えて印字できること。
4	5	9		請求額合計の中で感染症37条の2/精神32条/特定疾患適用分の金額を請求書に出力できること。
4	5	10		請求書の未収金額を本日の未収分（当請求書以外）と本日以外の未収分とに分けて出力できること。
4	5	11		自動入金機、自動精算機による会計処理ができること。
4	5	12		会計カード画面を表示すると共に、病名参照も同時にできること。
4	5	13		レセプト別表示では、主保併用分の項目名称が判別できるように表示されること。
4	6			入院管理
4	6	1		患者の入退院、転科・転室・転棟棟情報 および ドクターコードの登録・修正・削除ができること。各々日付とともに、時間区分（朝食前/昼食前/夕食前/夕食後）の入力ができること。なお、ドクターコードについては、選択入力とカナ氏名での検索入力ができること。また、転室時には転室前のドクターコードを引き継げること。
4	6	2		入院患者に対して、入院データ入力と入院基本登録で入力されたデータを基に、診療費の計算を行い、患者請求書の発行ができること。
4	6	3		退院会計では、請求書イメージと今回請求額を表示できること。
4	6	4		定期請求では、請求期間の選択や請求書コメント5個分の選択入力ができること。また、請求書発行日を指定できること。
4	6	5		退院日（期間）を指定し、該当患者の退院証明書を発行できること。
4	6	6		退院予定日と患者IDを指定し、退院証明書を発行できること。
4	6	7		選定療養が指定範囲内（日付）から始まる患者の一覧を出力できること。
4	7			収入金管理
4	7	1		窓口会計業務で算定された患者への請求金額を基に、入金/未収金の管理ができること。
4	7	2		未収情報は永久保存できること。また、一部入金の方納履歴は100件程度管理できること。
4	7	3		患者請求書に対する、料金請求履歴（料金サマリ）照会、入金・未収登録（全額/一部）、請求書（料金データ）訂正、再発行、削除、削除取消 および請求書作成・発行の機能を有すること。
4	7	4		締め日の設定ができること。この場合、締め処理後の入金を翌日扱いにできること。
4	7	5		当日の外来、入院 および その他の請求書発行枚数、請求額、入金額（当日分・以前分）の最新情報を随時照会できること。なお、当日のみでなく過去日についても照会できること。
4	7	6		以下に示す収入金管理帳表の作成ができること。また、帳表作成時、入院分/外来分の限定や対象年月日の範囲指定ができること。 ・現金払込書・項目別集計一覧・削除請求一覧・取消し入金一覧表・書損患者一覧表・請求患者一覧表・請求書一覧・督促郵送リスト・入金一覧 ・入金患者一覧表・入金明細リスト・発行請求一覧・返金一覧・返金患者一覧表・未収患者一覧表・未収金一覧・未収請求一覧・未納整理簿 ・請求書発行履歴一覧（内外区分の限定は不可）・領収書発行履歴一覧（内外区分の限定は不可） ・入金履歴一覧（内外区分の限定は不可）・未収履歴一覧（内外区分の限定は不可） ・書損履歴一覧（内外区分の限定は不可）・過去日修正履歴一覧（内外区分の限定は不可）
4	7	7		患者からの預かり金の登録、修正等の管理ができること。
4	7	8		複数回に分けて預かった場合には、合計金額が表示できること。
4	7	9		出産育児一時金制度に対応した請求機能を有すること。
4	8			外来診療予約
4	8	1		予約の登録・修正・削除・照会ができること。
4	8	2		基本スケジュールと月例スケジュールを登録して管理ができること。
4	8	3		患者を指定しての予約票発行ができること。
4	9			診療報酬請求業務
4	9	1		レセプト・会計カード作成できること。
4	9	2		レセプト編集情報をもとに、画面上へのレセプトイメージ表示ができること。 （医科歯科の医保・国保・公費・DPC等、労災・自賠責を含む全格式レセプト）
4	9	3		レセプトイメージ表示では、患者を指定し、複数様式分を順次画面表示できること。
4	9	4		オンライン請求に対応すること。
4	9	5		レセプトデータを元に総括表を作成できること。
4	10			統計

4	10	1		<p>医事統計帳表一覧</p> <p><患者数統計></p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療科別外来患者数 ・診療科別入院患者数 ・病棟別入院患者数 ・保険別外来患者数 ・保険別入院患者数 ・年齢性別患者数 ・地域別患者数 ・病棟別診療科別入院患者数 ・病棟別年齢別患者数 ・診療科別地域別患者数 ・ドクター別患者数 ・病棟別病床利用状況 ・病室別病床利用状況
4	10	2		<p><診療行為件数/使用量統計 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査業務内訳表 ・放射線業務内訳表 ・フィルム使用量統計 ・薬剤使用量統計 (金額順) ・薬剤使用量統計 (名称順) ・文書料等内訳表 ・医学管理件数統計 ・医事コード別統計 ・材料使用量統計
4	10	3		<p><診療費統計></p> <ul style="list-style-type: none"> ・負担別診療稼働額統計 ・診療科別診療稼働額統計 ・診療区分別診療稼働額統計 ・ドクター別診療稼働額統計 ・病棟別診療稼働額統計 ・病棟別診療科別診療稼働額統計 ・ドクター別稼働額一覧
4	10	4		<p><その他一覧表></p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定保険受診患者一覧表 ・診療・病名データ検索リスト
4	10	5		<p>平均在院日数統計帳表の作成ができること。また、画面に出力帳表イメージを表示できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟別入院患者情報 ・病棟別患者一覧 ・平均在院日数調 (年次) ・病院全体の平均在院日数調 ・入院患者入退棟状況調査表
4	10	6		<p>療養等包括病棟について、包括項目の出来高シミュレーション機能の提供ができること。(通常どおりの点数計算との対比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・療養病棟稼働額:シミュレーション前 ・一般病棟稼働額:シミュレーション後
4	10	7		<p>以下の外来患者一覧帳表が出力できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受付患者一覧 (診療科別・医師別) (受付順・患者 I D 順) ・未会計患者一覧 (診療科別) (受付順・患者 I D 順) ・予約患者一覧 (診療科別・医師別)
4	10	8		<p>以下の入院患者一覧帳表が出力できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入退院患者一覧 ・再入院患者一覧 ・平均在院日数除外患者一覧 ・継続入院患者一覧 ・入院日数別 (日数指定可) 入院患者一覧 ・入院患者一覧 (主治医別) (随時)
4	10	9		<p>以下の診療費関係帳表を出力できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院診療点数 (疾病分類別) (基本 A B C D 分類) ・入院診療点数 (病床種別・診療科別) (基本 A B C D 分類) ・入院診療点数 (病棟) (基本 A B C D 分類) ・診療点数 (入外別・診療科別) (基本 A B C D 分類) ・診療点数 (保険別) ・社保・国保等保険診療の診療点数と診療金額、実績金額、食事療養費、消費税 ・自費診療の負担割合別診療点数と診療金額、実績金額、食事療養費、消費税 ・労災保険の診療点数と診療金額、実績金額、食事療養費、消費税 ・入院実績 (医師別・疾病分類別) ・外来実績 (医師別) ・診療費集計表 (全体稼働額) ・診療費点数比較 (統計⇔レセ⇔窓口) ・診療費金額比較 (統計⇔レセ⇔窓口) ・病棟別行為別入院診療費 ・医師別行為別外来診療額、医師別行為別入院診療費 ・診療科別行為別外来診療額、診療科別行為別入院診療額 ・保険別行為別外来診療費、保険別行為別入院診療費
4	10	10		<p>以下の診療行為件数・点数帳表を出力できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・診療区分別一覧表 ・診療科別医師別投薬料減患者リスト (正規点数・減後点数)

4	10	11		<p>以下の患者数統計帳表が出力できること。(日報、月報、年報)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入院患者数(診療科別・病棟別) ・入院患者数(医師別・病棟別) ・入院患者数(地域別・年齢別) ・入院患者数(保険公費別・病棟別) ・入院患者数(疾病分類別・病棟別) ・入院患者数(病棟別・地域別・年齢別) ・入院患者数(診療科別・地域別・年齢別) ・外来患者数(診療科別・地域別・年齢別) ・新患・初診・再診患者数(診療科別・医師別・疾病分類別) ・医師別紹介患者数、医師別逆紹介患者数 ・診療科別外来患者数 ・診療科別入院患者数 ・患者日報 ・入院患者数(疾病分類別、病棟別)
4	10	12		<p>以下の患者一覧帳表が出力できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新患登録患者一覧(患者ID順・氏名順・地域順)〈随時〉 ・最終来院日患者一覧(患者ID順)〈随時〉 ・保険公費有効期限切れ患者一覧(患者ID順)〈随時〉 ・保険公費有効期限切れ入院患者一覧(病棟順)〈随時〉 ・厚生労働省第二共済組合診療部該当患者一覧表〈随時〉 ・指定診療行為使用患者一覧〈随時〉 ・指定保険公費使用患者一覧〈随時〉 ・指定病名患者一覧〈随時〉 ・月間に2保険以上使用した患者の一覧〈随時〉 ・コメント欄に指定した文字列を含む患者一覧〈随時〉 ・難病患者一覧(入外別) ・後期高齢者特定入院基本料対象患者一覧 ・選定療養対象患者一覧
4	10	13		<p>以下の薬品消費統計帳表が出力できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使用高一覧(月報・年報) ・有料個室使用状況、有料個室使用患者一覧 ・重症者室使用状況、重症者室使用患者一覧
4	10	14		<p>以下の収入金日報が出力できること。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者別収入金日計表 ・担当者別日計表入金リスト ・保険別収入金日計表 ・保険別日計表入金リスト
4	11			D P C請求機能
4	11	1		DPCIに対応した患者請求・レセプト請求が可能であること。
4	12			入院関連レセプト
4	12	1		会計入力時の自動発生(生成)・包括項目凡例を表示すること。
4	12	2		入院料関連自動発生(生成)・包括項目凡例を表示すること。
4	12	3		特定入院料の算定ができること。
4	12	4		経過期間チェックのチェック機能を有すること。
4	12	5		算定限度期間と限度回数・項目数チェック機能を有すること。
4	12	6		項目コード重複チェック機能を有すること。
4	12	7		行為適用チェック機能を有すること。
4	12	8		歯科矯正診断科・顎口腔機能診断科の入力チェック機能を有すること。
4	12	9		歯科矯正管理料の入力チェック機能を有すること。
4	12	10		動的処置項目の入力チェックを有すること。
4	13			歯科レセプト作成
4	13	1		歯科病名を登録できること。
4	13	2		歯科レセプトを出力できること。
4	14			病床機能報告制度
4	14	1		新規入棟患者数、在棟患者延べ数、退棟患者数等
4	14	2		一般病床・療養病床における各診療報酬の項目の実施状況